

ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

イコウ IKOU!

2025年 新春号



【巻頭特集】

あふれる多様性が光り輝く明日をつくる

障がい者雇用推進カンパニー訪問インタビュー
株式会社サンゲツ

就労支援の「人」

一般社団法人障がい者アート協会
代表理事 熊本豊敏氏

いこう!就労移行支援事業所へ!

あなたが創り上げるフレッシュな事業所—ぷらす横堤

第4回イコウ!新春川柳コンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

障がい者雇用推進カンパニー訪問インタビュー

あふれる多様性が 光り輝く明日をつくる

—障がいのある社員と共にSDGsを推進—

株式会社サンゲツ

日本を代表するインテリア業界のリーディングカンパニー、株式会社サンゲツ（以下、サンゲツ）。愛知県名古屋市内に本社を置く同社は、壁紙、床材、カーテンなどのインテリア商品を提供し、現在は、総合的に空間を創造する「スペースクリエイション企業」を目指しています。私たちの住まいや暮らしにはなくてはならない企業といえるでしょう。

1849（嘉永2）年に前身となる山月堂が創業。1953（昭和28）年に株式会社化して以来、環境に配慮した商品の拡充など、現在のSDGsに通じるマインドを持ち続けてきました。障がい者雇用においても同社の方針は共通しており、特例子会社という形をとらず、多くの障がいのある方々が活躍しています。

今回は、サンゲツの皆さまに障がい者雇用をはじめとしたダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン※（以下DE&I）の取組みや姿勢、意識の在り方についてお話を伺いましたので、その内容をインタビュー形式で紹介いたします。

※組織の中で多様な人材を等しく尊重し、力を発揮できるように環境整備や働きかけを行う考え方を

◆DE&I推進の概要と背景にある想いを教えてください。

サンゲツグループでは、企業理念「すべての人と共に、やすらぎと希望にみちた空間を創造する。」というPurposeのもと長期ビジョン【DESIGN 2030】を掲げ、「みんな（Inclusive）、いつまでも（Sustainable）、楽しさあふれる（Enjoyable）」社会の実現を目指しています。当グループではこの考え方をとくに、性別・年齢・国籍・人種・宗教・障がいの有無・性自認及び性的指向などにかかわらず、従業員一人ひとりの個性を多様性として活かし、挑戦・革新し続ける風土の醸成や仕組みの充実を推進しています。

この方針の根底には「人」があり、「公平に尊重したい」という想いがあります。私たちは、多様な背景や価値観、感性の違いから生まれる新しい視点やアイデアを豊かな創造性へと結びつける「ダイバーシティ・マネジメント」を経営の中心に据え、市場の多様化に 대응する重要な成長戦略としているのです。

◆DE&Iの推進状況について教えてください。

当グループの2023年から2025年にかけての中期経営計画

サンゲツグループの事業領域

◇国内インテリア事業◇



住宅からオフィス、商業施設など、あらゆる室内空間を彩る壁装材、床材、ファブリック（カーテン・椅子生地）等を取り扱っています。

◇国内エクステリア事業◇



住宅の門扉や家庭用フェンス、カーポートをはじめ、学校などの公共施設や商業施設に至るまで、幅広いエクステリアを提案しています。

◇海外事業◇



北米、東南アジア、中国・香港市場において、各国の市場環境に合わせて、インテリア内装材の製造・販売を中心とした事業活動を行っています。



- ◆(株)サンゲツ コーポレート部門 ゼネラルマネージャー 執行役員 牧繁伸氏 (中央右)
- ◆(株)サンゲツ コーポレート部門 人事部 人材開発課 リーダー 島見太市氏 (右)
- ◆(株)サンゲツ 社長室 広報 IR 課 課長 花澤みどり氏 (中央左)
- ◆(株)サンゲツ 社長室 広報 IR 課 リーダー 成瀬満美子氏 (左)

【BX2025】にはDE&I推進に関する目標として次の内容を挙げます。

- 障がい者雇用率：単体4%以上
- 女性管理職比率：単体25%以上※
- ※2026年4月1日時点にて
- 男性育休取得率：単体100%※
- ※2週間以上の休暇

実際の進捗としては、障がい者雇用率は3.5%、女性管理職比率は21.2%です(2024年3月時点)。男性の育休取得率も現在、100%を達成。これには一人を組織の皆でフォローしようという風土文化も影響していると思います。また、産育休を取得し復職する女性も増えてきています。

◆障がい者雇用について教えてください。

当グループにおいて障がい者雇用が始まったのは、人事部の記録によると1980年です。なお、この時に入社した方は、現在は定年を迎え、嘱託社員として活躍しています。

雇用形態としては、特例子会社という形はとっておらず、所属部署も健常者と変わりません。業務内容についても、もちろん障がい種別によって「できる・できない」はあるものの、基本的には健常者と同じです。しっかりと業務の選定・創出を行うことで、対応していただいています。大切にしている価値観としては、「障がいのある人も決して特別な存在ではない」ということです。

障がいのある方に活躍してもらうためにはハード、ソフト面の環境の整備が必要になりますが、これも障がい者の為だけに実施するわけではありません。障がい者の働きやすい環境は、健常者にとっても働きやすい環境だからです。私たちは「社員みんなの働きやすさ」のためにも、積極的に障がい者雇用に取り組んでいるのです。

◆ 障がいのある人は特別な存在ではない

SDGs 達成に向けたサンゲツの主な取組み

◇Inclusive (インクルーシブ)◇



やすらぎと希望に満ちた空間を創造する事業活動とともに、グループ各社および社員のさまざまな社会参画活動を通じ、多様性が尊重され、格差のない誰もが安心して快適に過ごせるインクルーシブな社会の実現に貢献します。

一取組み例一

- 児童福祉施設のリフォーム支援
- 社会貢献活動への積極的な参加
- 開発途上国の子どもたちへの支援

◇Sustainable (サステイナブル)◇



長く使い続けられる空間の創造とともに、低環境負荷商品の開発やサプライチェーン全体の環境負荷低減に努め、地球環境を守るサステイナブルな社会の実現に貢献します。

一取組み例一

- エネルギー使用量の削減
- 廃棄物の削減
- リサイクルの推進
- 低環境負荷商品の拡充
- 水利用の管理

◇Enjoyable (エンjoyイアブル)◇



さまざまな文化・環境・背景に応じて、誰もが安心して快適に過ごせる社会の実現とともに、デザインするよろこびと感動に満ちた空間を届け、より豊かでエンjoyイアブルな社会の実現に貢献します。

一取組み例一

- 良好な職場環境の維持や健康の増進
- 外国籍や外部専門人材の採用と活躍支援
- 障がい者雇用の職域拡大と活躍支援
- 女性管理職の登用拡大

障がいのある方の業務内容一例(図A)

◆見本帳リサイクル◆



◆採用業務フォロー◆



◆名刺発注作業◆



◆郵便物等の振分け◆



◆データ抽出・まとめ◆



障がいのある方への配慮内容一例(図B)

◆就業時間の柔軟性◆



◆在宅ワーク◆



◆保健師を設置◆



◆業務の調整◆



◆多目的トイレ◆



◆障がいのある方の職務内容について教えてください。

障がいのある社員の職務については、先ほどお話ししました通り、基本的には所属部署や障がい内容に応じて業務の選定・創出が行われますが、例えば(図A)に示す内容などがあり、サンゲツならではの業務としては、「見本帳リサイクル」があります。

見本帳とは、当社商品をまとめたカタログであり、工務店や建築事務所、ホームセンターなどに納められるものです。消費者の皆さまはこれに貼り付けられた壁紙や床材などの素材の色や手触りなどを吟味するのですが、各種内装材が貼り付けられているため、有効期間を過ぎた後、そのまま一般的な古紙回収の流れに乗せることはできません。

リサイクルするためには、1ページ1ページ素材を手ではがさなければなりません。それを障がいのある社員が実施しています。年間約12万冊にのぼりますが、全体の発行部数に比べるとまだ一部です。SDGsを推進しているサン

「障がいのある社員についても特別視はしない」と先ほどお話しさせていただきましたが、合理的配慮については別と考えています。各社員の特性を鑑みて、その方が最大限にパフォーマンスを発揮できるように配慮をすること。それはとても大切なことです。例えば、精神障がいのある社員の就業時間や出勤日数を調整したりすることもあります(その他、図B参照)。

障がいのある社員のフォローやケアについては、就労移行支援事業所などの障がい者支援機関の力も積極的に借りています。例えば長期定着のための支援や、万が一のトラブルが起こった際のサポートなどに対応していただいています。本人とのコミュニケーションが円滑になるので感謝しております。採用の際にも、人材を紹介していただくことがあります。このような支援機関は障がい特性やス

障がい者福祉施設への見本帳寄附

↓見本帳



↑作業風景

◇リサイクルと障がい者支援◇

有効期限を迎えた見本帳は、福祉施設にて障がい者の方の自立支援活動に役立てられます。自立支援プログラムの一環として、障がい者の方が見本帳の解体や、台紙と現品見本の剥がし作業を行います。剥がし終わった台紙は古紙買取業者に有価引取され施設の収益となり、現品見本はリサイクル処理を行っています。



社会課題に向き合い、社会価値を実現

サンゲツの社会貢献活動

◆次世代支援◆



- 児童養護施設のリフォーム支援
- 自社商材を活用した工作支援
- 職場見学

◆地域貢献◆



- 地域イベントへのボランティア
- 自社内での献血活動実施
- 地域清掃

◆環境保全◆



- 森林保護活動
- 生物多様性の調査協力
- 植林活動
- 海岸清掃

◆社会/文化◆



- 文化、福祉、教育分野への寄附
- 医療分野への寄附

◆被災地支援◆



- 災害ボランティア
- 義援金、避難所にカーペットやカーテンなどの当社商品寄贈

LGBTQ+ に関する取組み

◇研修・教育◇

全社員を対象としたLGBTQ+研修を定期的の実施し理解を深めています。2023年度は当事者に登壇いただき研修を行いました。

◇LGBTQ+普及イベント◇

2019年より名古屋レインボープライドが行うイベントに協賛参加しています。名古屋レインボープライドとは、LGBTQ+を軸に一人ひとりの多様性を可視化し権利や尊厳を求め、「違いを認め合う価値観」を広げることを目指したイベントです。



キルなども把握されているので、人材と職場をつまくマッチングしていただいていると思います。

◆DE&Iに関する今後の展望を教えてください。

世界的に社会課題の解決に向けた取組みが進められていますが、その一方で、日を追うごとに社会課題が深刻度を増している状況です。そのような中、サンゲツグループでは2024年1月に新たな企業理念を発表しました。策定においては、多くのグループ社員が、社会課題とは何か、その解決のために自分たちはどのように貢献するのか、といった本質的な議論を深め、会社や自身の役割、存在意義を明確にすることができました。障がいのあり・なしに関わらず、一人ひとりが、社会課題と向き合い、社会課題への意識を高め、事業活動や社会活動を通じて、サンゲツグループが目指す社会価値を実現・向上してまいります。

■参考：未来のために ESG※担当役員 牧繁伸氏メッセージ

2014年から続けている児童養護施設へのリフォーム支援においては、グループ会社を含む全国の社員が積極的に参加し、2023年には59件のリフォーム支援を実施しました。この取組みは、児童養護施設で暮らす子どもたちを支援することを目的としています。社員が社会課題に直接触れることで、多くの新たな気づきを得ています。さらに、リフォーム支援だけでなく、未来を担う子どもたちの生活や教育、医療、自然保護など、幅広い社会課題の解決に取組む団体への支援や協業も継続しています。今後も各団体と協力し、「誰もが明日の夢を語る世界」の実現を目指して社会課題の解決に努めてまいります。

※環境・社会・ガバナンス



取材は、サンゲツの名古屋本社で行われました。牧執行役員をはじめ、サンゲツの皆さまはとても親切に、丁寧に取材に応じてくださいました。この度は、誠にありがとうございました。

株式会社サンゲツについて

- ◆ 所在地：(本社) 愛知県名古屋市西区幅下一丁目4番1号
- ◆ 設立：1953年4月(創業嘉永2年/1849年)
- ◆ 従業員(連結)：2,645名(2024年3月期)
- ◆ 売上高(連結)：1,898億円(2024年3月期)

障がい者雇用率(単体) 目標 4%(2022年度)実績 3.9% → (サンゲツ単体・2023年3月時点)

＜障がい者雇用率＞(毎年3月末時点)に基づく



(サンゲツ HP より <https://www.sangetsu.co.jp/>)



いこう! 就労移行支援事業所へ!



開放感のある室内では利用者さんたちがリラックスして過ごす。



就労移行について分かるイベントも随時開催されて好評を博している。



年末ビンゴ大会はオンラインでぶらす守口・住道となぎ賑やかに開催される。



取材に応じてくれた鈴木潤サービス管理責任者(左・ぶらす横堤)と生成法子サービス管理責任者(右・ぶらす守口)。

<今回お伺いした事業所>



あなたが創り上げるフレッシュな事業所

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこには事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

何よりも大切にしていること

大阪府で3拠点を展開する就労移行支援事業所「ぶらす」。先行して開所していた守口、住道に続き、2024年10月に開所したぶらす横堤。開所したばかりならではの「未来に対するワクワク感」満ちている事業所で、サービス管理責任者である鈴木さんは「利用者さんへの接し方で最も大切にしていること」を教えてください。

「お一人おひとりのことをしっかりと知る、まずはそこに注力するようにしています。例えば、人となりやお悩み、好きなもの、大切にしている価値観などを知った上で、お気持ちを最大限に尊重し、将来の夢を叶えるサポートをするのです」

ぶらす守口のサービス管理責任者である生成さんが続ける。

「就労移行サービスは、就職してからが本当のスタートとも言えますので、利用者さんとはできる限り長いお付き合いをしたいと考えています。そのために、やはり必要になってくるのが鈴木も話した通り、深い信頼関係の構築ではないかと思えます」(生成さん)

それぞれの個性が奏でるハーモニー

「信頼関係の為に、もちろん利用者さんお一人おひとりに対する個別対応が必要です。マニュアル通りの訓練サポートではいけないと思います。それこそ、『伴走』が必要なのだと思います。利用者さんと一緒に考え、悩み、喜び、進む。訓練内容も、『あるものから最適なものを選んで利用者さんに提案する』のではなく、『一緒に創り出す』のです」(鈴木さん)

利用者さんの希望の就職先や職種、将来のありたい姿などから逆算して訓練プログラムを組み立てるイメージだという。この考え方は、グループワークにも当てはまる。例えば、コミュニケーションが苦手な利用者さんが多い場合は、「カタカナ禁止ゲーム」や「他己紹介」といった対話の訓練になるイベントを開催する。また、「カレール作りで理解する工程管理」や「PCを使った資料づくり」など、各支援員が得意分野を発揮するプログラムもある。つまり、利用者さんと支援員がそれぞれの個性を持ち寄ってグループワークが創られるのだ。

「『ぶらす』は3事業所ありますから、他事業所をつないで面接練習などのプログラムを開催することもあります。企業実習の前に、いつもと違う環境となる他事業所で訓練することもありますよ」(生成さん)

当事業所では、3事業所展開の利点も存分に発揮しているのだ。

利用を検討されている方へ

「希望なされない場合は、当事業所に通所したからと言って、すぐに就職を目指す日々が始まる、というわけではありません。『頑張らなければならぬ場所』ではないのです。まずは、生活のリズムを整えたり、日々を穏やかに楽しく過ごすことを目指す方もいらっしゃると思います。あなたにとって最適な日々を私たちと一緒に考えていきましょう」(鈴木さん)

「ここに来ると、共に過ごす支援員や利用者さんという仲間がいます。辛い時や苦しい時、周りを見渡せば仲間がいる環境は、あなたを癒し、勇気づけてくれます。ぜひ一歩踏み出してみてください、私たちに会いにいらしてくださいね。お待ちしております」(生成さん)

「プログラムありき」ではなく「利用者さんありき」という事業所のスタンスに加え、開所間もないという環境。ぶらす横堤の歴史を創っていくのはあなたかもしれない。何年後かに利用される方のためにも、ぜひ、居心地の良い、素敵な事業所文化の構築に一役買ってみたいかがだろうか。

事業所お問合せ先情報

●ぶらす横堤

大阪市鶴見区諸口 3-1-28-5F
TEL : 06-6780-9790

●ぶらす守口

大阪府守口市京阪本通 1-3-7-4F
TEL : 06-6998-1555

●ぶらす住道

大阪府大東市浜町 9-15-3F 306
TEL : 072-816-0555

<https://www.plus2.co.jp/>



わたしたち！就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

多くの方の幸せな人生の第一歩としての一般就労を目指します

ティオ西葛西（東京都）



東京都江戸川区西葛西
6-10-12 MMビル 3F

◆TEL 03-6663-9963

◆E-MAIL info.n@tio.tokyo.jp

<https://tio.tokyo.jp>

これが事業所の名物ワーク！

地元密着テイクアウトイベント

利用者さん同士がコミュニケーションをとりやすく、定着支援の方の参加も多いです。



テイクアウトのインドカレー

障がいのある方へのメッセージ

ティオ西葛西は2024年8月で設立10周年を迎えました。一人でも多くの方々に幸せな人生の第一歩として一般就労を果たしていただきたい、と考えております。また、働くだけが人生ではなく、今後の人生を楽しむことも大きな支援のテーマにしています。

「来て良かったと思われる事業所」を目指して！

テイクハート青戸（東京都）



東京都葛飾区青戸 3-27-11
南葛ビル 6F

◆TEL 03-6657-6525

◆E-MAIL info@takeheart.or.jp

<http://takeheart.or.jp>

これが事業所の名物ワーク！

元気になる講座

利用者さんが元気になれるヒント、エッセンスをグループワーク形式で進めていきます。



講座風景

障がいのある方へのメッセージ

勇気をふりしぼって、お問合せ頂いた方の大切な思いに寄り添いながら「来て良かったと思われる事業所」を目指してまいります。小さな一歩も大きな一歩に繋がるようにサポートさせていただきます。

働く勇気がきっと見つかる

パスセンター上大岡プラザ（神奈川県）



神奈川県横浜市港南区上大岡
西 1-11-3 第3大蔵ビル 6F

◆TEL 045-367-8666

◆E-MAIL plaza@passcenter.jp

<https://plaza.passcenter.jp>

これが事業所の名物ワーク！

働く力を育む！特別講義

代表理事から学ぶ、就労へのヒント満載の講義です。



講義風景

障がいのある方へのメッセージ

私たちパスセンターは、あなたの『就職したい』という気持ちに寄り添い、あったか支援で就労への挑戦をサポートします。あなたのペースに合わせて、一歩ずつ前進できる環境を共に整えていきましょう。

はたらく自分を はっきり描けた

ティोकまもと新市街（熊本県）



熊本県熊本市中央区新市街
12-3 グリーンノットビル 2F

◆TEL 096-274-8090

◆E-MAIL tio.kanau@gmail.com

<https://kibaru.jp>

これが事業所の名物ワーク！

最高の環境で最適かつ、最短の就労を応援します！



イベント風景

障がいのある方へのメッセージ

あなたの働きたいを応援します！体調が安定しない…働いても長く続かない…そんな悩みをお持ちではありませんか？

『ティオで出来る5つの事！』

1. お一人おひとりにあった個別スタイル
2. 就職に有利な資格取得
3. 日替わりで実施する魅力的なプログラム・イベント
4. 就職後も安心の「定着支援」
5. 充実した手厚いサポート（資格受検補助・交通補助・昼食提供）

応募総数151 作品!

第4回イコウ! 新春川柳コンテスト結果発表

イコウ<2024 年秋号>にてご案内した「イコウ! 川柳コンテスト」にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。ここでは、読者の皆さまの素晴らしい作品の中から表彰作品について、紹介いたします。<主催> 一般社団法人社会福祉支援研究機構

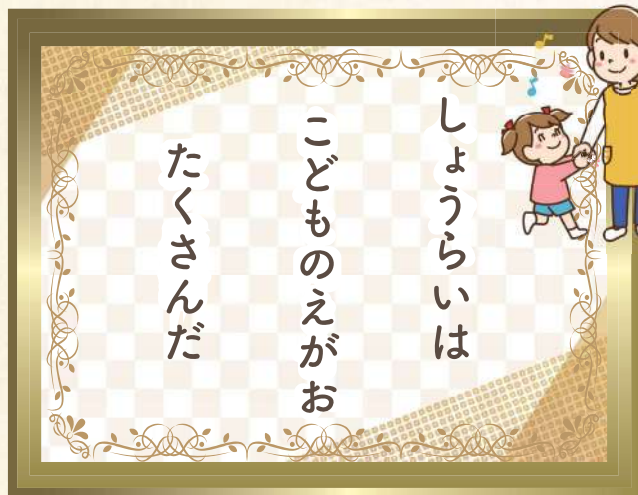
最優秀賞

A.Mさん

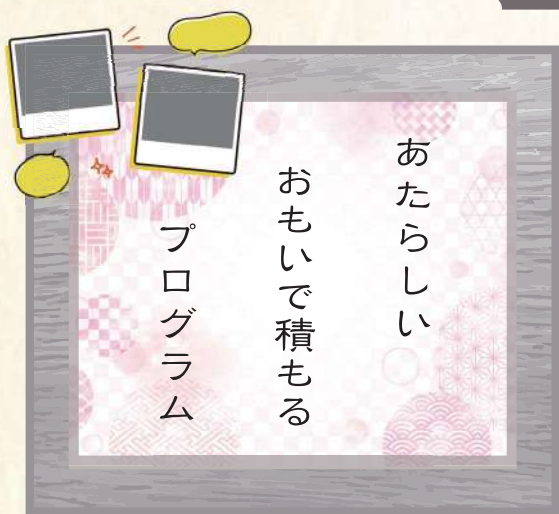
<パレット大曾根/愛知県>

表彰の言葉

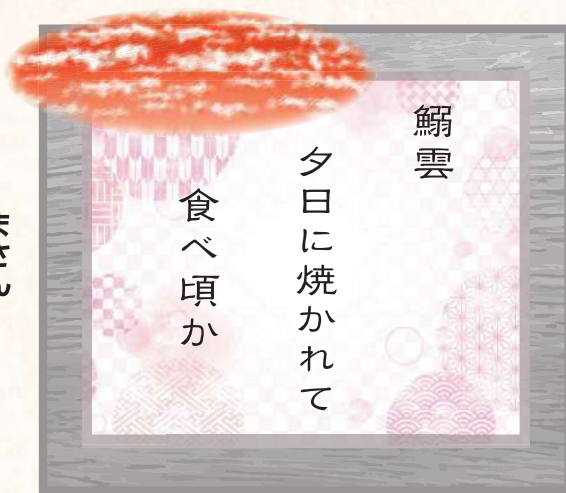
保育士助手のお仕事を目指されているという作者のA.Mさん。ワクワクするような将来の希望を表現してくれました。ぜひぜひ、夢を叶えてください! 応援しています!



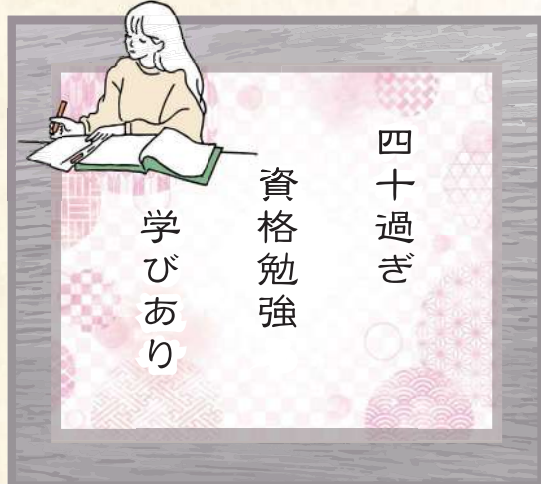
優秀賞



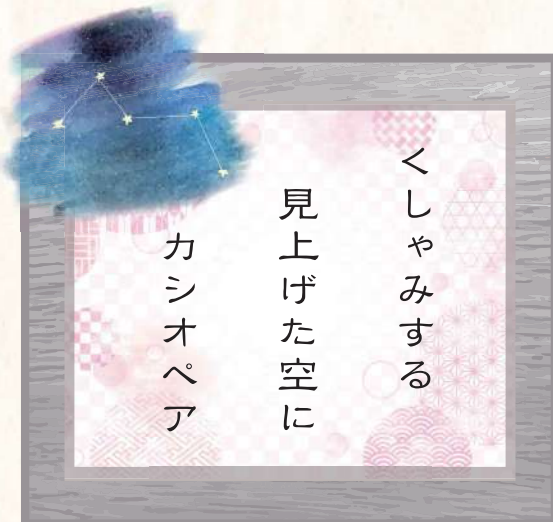
まさん
<エール近鉄八尾/大阪府>



北関東の人さん
<アドマーニ久喜/埼玉県>



みやびさん
<チャオ上尾/埼玉県>



紗彩さん
<アポーヨ柿田川/静岡県>

佳作ギャラリー



昼下がり やる気と眠気の 一騎打ち

優介さん (ラフィオ熊谷/埼玉県)

新年も 自分なりに 頑張るぞ!!

ユッキーさん (バスセンター大船/神奈川県)

おでん鍋 あったまろうか 冬休み

ともちゃんさん (ぶらす守口/大阪府)

ご褒美の お菓子食べ過ぎ 反省会

あゆみさん (ルミノーズ川崎登戸/神奈川県)

がんばろう つらいことにも まえむきに

わんさん (フィン香椎駅前/福岡県)

第5回『折り句コンテスト』作品募集のご案内

◆折り句とは…古くから日本にある言葉遊びの一種で、一つの文章や詩の中に、別の意味を持つ言葉を織り込む「あいうえお作文」のようなものです。お題の言葉の一つひとつの頭文字をとって、お題に関係のある文章にします。

❖お題

何でも可です。応募される方が自由に設定をしてください。

※複数作品応募可

❖応募形式

①紙などへの手書きデータのスキャンデータ ②テキストデータ

※手書き、テキストともにイラストの有無は問いません。

❖募集期間

2024年12月16日(月)～2025年2月15日(土)

❖結果発表

2025年3月発行予定の『イコウ』2025年春号誌上にて

❖優秀作品について


折り句作家 MIKAKO さんの折り句グッズを進呈いたします。

❖応募方法


作品に氏名(ペンネーム可)を添えて、ご契約の就労移行支援事業所(社会福祉支援研究機構加盟)にご提出ください。

※本誌に掲載させていただく場合は、事前にご連絡をいたします。

<主催>

 一般社団法人社会福祉支援研究機構

<協賛>

 日本折り句協会 <http://www.oriku.or.jp/>



<事前講習イベントのご案内>

審査委員長・MIKAKO 先生による
「誰でも楽しめる折り句講座」

◆2025年1月13日(祝・月)11:00～11:50

◆実施方法: ZOOM (ウェビナー使用)

◆講師: MIKAKO 先生

※詳細は事業所内の案内等でご確認ください。

MIKAKO 



Person of employment support

就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

一般社団法人障がい者アート協会 代表理事

熊本 豊敏氏

熊本氏の著書

『障がい者アートの未来を探して』
(オモイカネブックス 2018年)

購入サイト (AMAZON) →



Profile

1965年生まれ、長崎県佐世保市出身。小売企業で婦人服を経験後、約10年経営企画、営業企画と企画部門に従事。その後、人材業界などで多様な業務を経験し、2015年に障がい者の自立支援の形を作るべく一般社団法人障がい者アート協会を設立。インターネットを中心に障がい者の創作活動の周知啓蒙を行う。

自分の作品で収入を得る

私はもともと小売業界におりまして、現在のような障がい者に関係する仕事をしていたわけではありません。関わるきっかけは、息子に自閉症と知的障がいがあったということです。彼は、幼い頃からしょっちゅう部屋の片隅で絵を描いていました。その作品は親の鼻根目で見ても同じ年の子どもたちよりも上手だなどと思えるようなものでした。彼が中学生のとき、障がいのある子供たちを集めて月に一回ほど絵を描くサークルがありました。そこで息子が描いた絵がある団体の目にとまり、その団体ポスターに採用されることで作品の使用料をいただきました。彼は障がいがあるながらも中学生にして自分でお小遣いを稼いだのです。

より多くの人に、アートを通じて素敵な体験をして欲しい

彼が欲しいものは、彼が自分で稼いだお小遣いを使って自分で買うようにしていました。例えば、通販である品物が届いた時、箱を開けた時の笑顔は本当に嬉しそうでした。好きなアイスクリームも、少し高級なものを食べて美味しそうにしていました。私は、これを素晴らしいことだと感じました。障がいがあっても、自分の好きなものを自分のお金で買う喜び、生きる喜びにも通じる喜びを、適切なサポートを通じて体験をすることができました。ただ、彼に機会をくれた団体の取組みもきちんと事業化されているようなものはありませんでした。もし、

アートで社会参加の喜びを感じて欲しい

しっかりとした事業モデルを構築して運営できれば、より多くの当事者やその保護者の人々が息子や私のような体験ができるのではないかと。そう考え、当協会を設立しました。

障がい者アートについて

現在、当協会には約1600人の障がいのある人がアーティストとして登録し、約6万6千点の作品を公開しています。障がい者アートの特徴としては、健常者にはない発想があるということかと思えます。例えば、色使いやモチーフのデザインなどが異なります。人によっては、形の捉え方も様々です。例えば馬を描いたとして、その形が馬ではなくても、気にしない自由さがあるのです。

印象に残っているアーティストに、仙台の山下重人さんがいます。幼少より進行性筋ジストロフィー症となり、頭を動かすこともできないのですが、指先のわずかな動きを駆使してPCとペンタブで驚くような作品を生み出し続けています。なお、彼の作品は福祉団体が発行している月刊誌の表紙に年間で継続して採用されています。息子のことを言えば、昔に比べて絵を描くことがなくなりました。理由としては、現在は就労をしていますが、忙しいということもあるのですが、成長するにつれ絵を描くこと以外



作品名『さくら』
山下重人

現在、就労を目指している方へ

日々の仕事、生活、訓練の中で感じる、小さな成功をぜひ素直に喜んでください。それが前に進む力になると信じています。当協会では、アーティストの方々には納税者としていただいています。少なくとも、作品の使用料や創作活動応援費については源泉徴収をした上でお支払いしているのです。皆さまもぜひ、就労された際には、納税をして、あらためて社会参加の喜びと自信を感じていただければと思います。

日々の仕事、生活、訓練の中で感じる、小さな成功をぜひ素直に喜んでください。それが前に進む力になると信じています。当協会では、アーティストの方々には納税者としていただいています。少なくとも、作品の使用料や創作活動応援費については源泉徴収をした上でお支払いしているのです。皆さまもぜひ、就労された際には、納税をして、あらためて社会参加の喜びと自信を感じていただければと思います。

【企業・団体の方へ】

当協会は支援活動にご賛同頂いた企業様からのスポンサー収入・著作権使用料収入・寄付によって運営されています。是非ともご参加をご検討ください。



❖題字の作者



1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代の人々と折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



機構加盟の就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可） / イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず） / 川柳 / 俳句 / 短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。
※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖
発行人：佐野敏夫 / 副発行人：両角康史 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也
TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す「就労移行支援」

①一人でも多くの“一般就労”を実現

②最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③“一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計
令和6年3月31日時点
3,830名就職

資格合格実績累計

令和5年6月30日時点

11,120名合格

目指せる資格は70種類以上

<目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフィエンス検定協会)❖ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルキャリアリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接客検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座
- ★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

